

【施設】鎌倉市内の子ども関連施設における読書環境アンケート集計結果2024

第4次鎌倉市子ども読書活動推進計画を推進していくにあたり、子ども関連施設の読書環境を把握するため、令和6年（2024年）5月にアンケートを実施しました。

鎌倉市内の保育園、幼稚園、認定こども園、放課後子どもひろば・子どもの家、子育て支援センター、支援学校、児童発達支援施設、放課後等デイサービス、フリースクールの104施設に依頼し45施設から回答を得ました。

（FAX29件、e-kanagawa16件）

回答率は43%、回答者のうちe-kanagawaでの回答率は35%でした。
子どもの読書環境について定点観測し、今後の読書環境整備に役立てます。

2023年度の集計結果はこちら

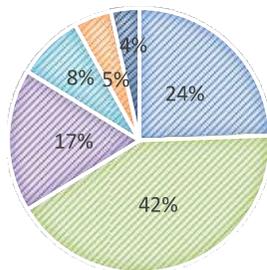


【回答施設の内訳】

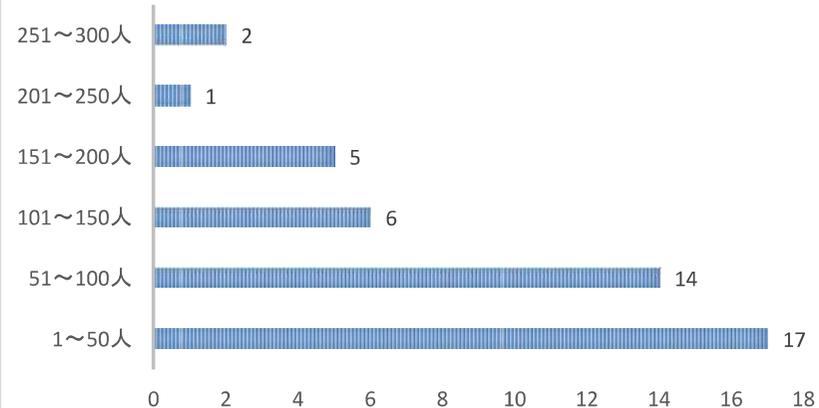
民間保育園11、公立保育園3、幼稚園11、認定こども園1、
放課後子どもひろば・子どもの家7、子育て支援センター3、
支援学校1、児童発達支援施設・放課後デイサービス7、
フリースクール1

施設の対象者（複数回答可）

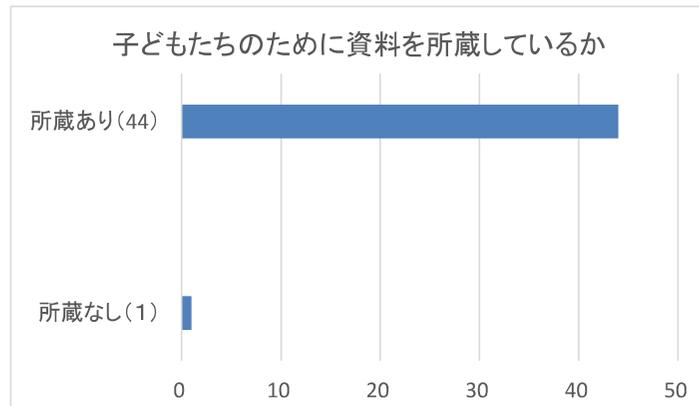
- 1 乳児(21)
- 2 幼児(36)
- 3 小学生(15)
- 4 中学生(7)
- 5 高校生(4)
- 6 その他(3)



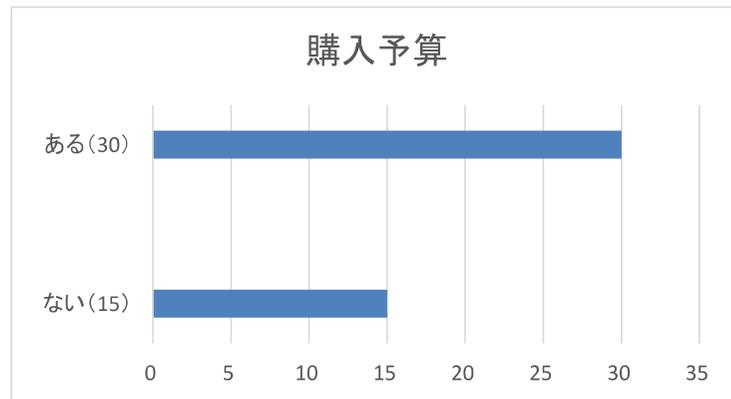
施設の利用人数



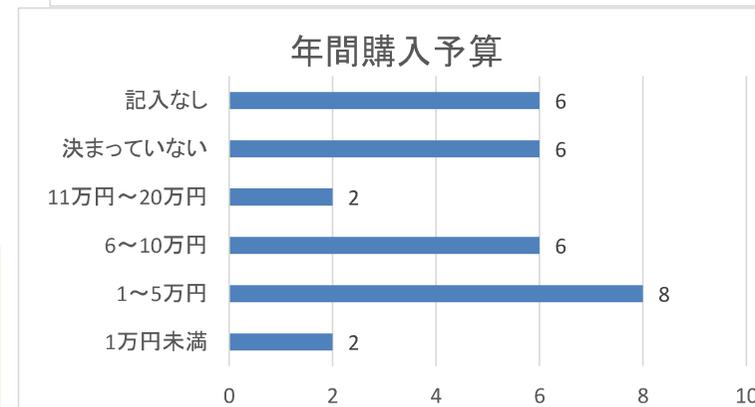
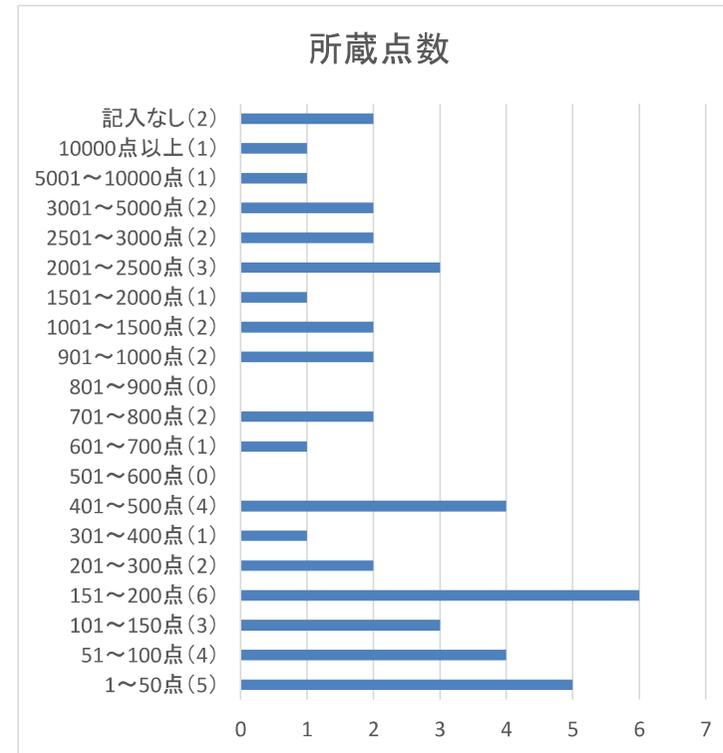
※単位について記載のない数値は施設数を表しています。



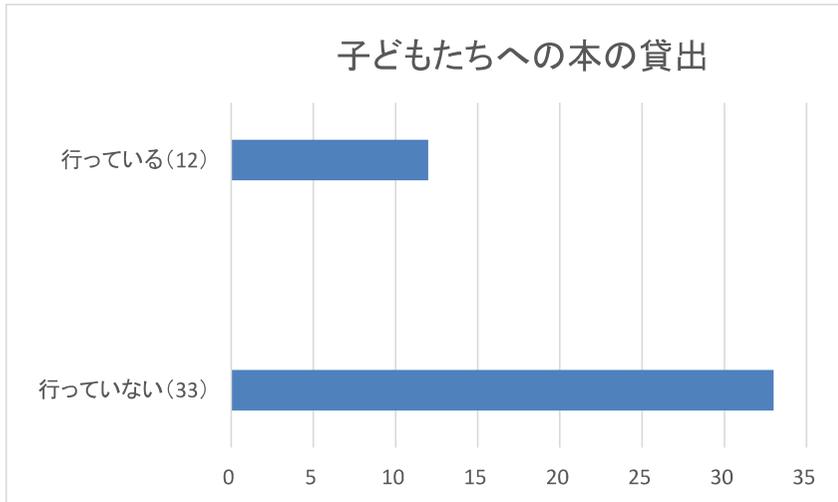
ほとんどの施設で子どもたちのために資料を所蔵しています。利用人数の規模の関係もありますが、昨年度より、1001点以上所蔵している施設も増え、読書環境が充実しています。



購入予算については、今年度はある施設がない施設の2倍となり、購入予算をもつ施設が増えています。金額も10万円以上の施設が増えています。継続した資料の購入につながるため、金額が少なくても予算化されていることが重要だと考えます。



子どもたちへの本の貸出



本の貸出を行っている12施設について

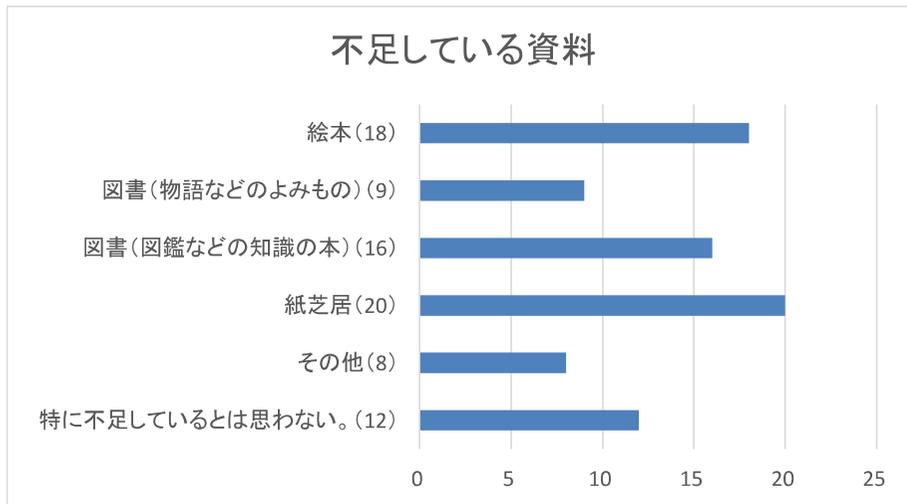
【貸出点数】

- 1点 4施設
- 2点 3施設
- 3点 4施設
- 無回答 1施設

【貸出期間】

- 3日間 2施設
- 1週間 6施設
- 2週間 1施設
- 決まっていない 2施設

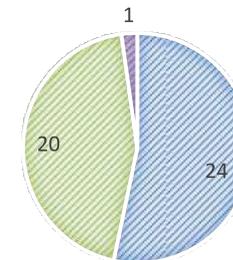
不足している資料



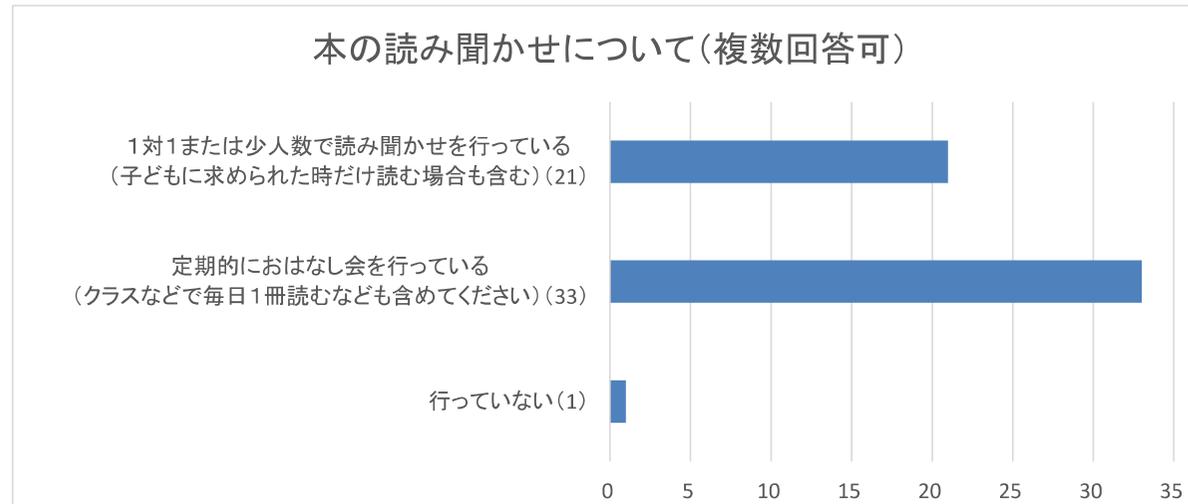
貸出せず、施設を利用しているときに、読んだり、読み聞かせを行うことが多いようです。

リサイクル図書の希望について

■ 希望する(24) ■ 希望しない(20) ■ 回答なし(1)



リサイクル図書の配布方法を検討し、ご希望の施設へお知らせします。



回答のあったほとんどの施設で読み聞かせが行われています。

【施設】読書バリアフリーについて
《障害のある子どもへのサポート》
<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー絵本や布絵本を所蔵している。 ・大型絵本を所蔵している。
<ul style="list-style-type: none"> ・少ないですが点字本、大型本を揃えている。 ・障がいについて考える絵本や書籍を揃えている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ストーリーのある絵本よりも感覚的(オノマトペ)な内容や身近なもの(やさい・くだもの・どうぶつ)大きな本、手遊びなど。
<ul style="list-style-type: none"> ・現状では、電動車いすで来所し、自力で施設内で過ごす児童が1名いるが、介助としては、本を取って渡す、場合によっては、ページをめくる程度のサポート。
<ul style="list-style-type: none"> ・手に届くところにあり、自由に見られる環境が理想的だと思うが、破ってしまうことも多い。また、唾液など、口に入れたりすることも多いので、多少制限してしまうことがある。破れにくい本があると助かる。興味のありそうな時に一緒に読んだり、指さした時に答えたり、朝の会などで、読み聞かせを行ったりしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・障害のあるお子さんに対しても0、1歳児のお子さんと同じ対応をしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある子にはその子の発達に合わせた本の選択や読み方を行っている。
<ul style="list-style-type: none"> ・年齢ではなく、発達段階に応じた絵本を選んでいる。
<ul style="list-style-type: none"> ・発達支援の施設なので、静かな空間でマンツーマンで、絵本を読むことがある。 ・興味が薄い方もいるが、絵本だけではなくおもちゃなども持たせつつ、注目できるように配慮しながら行っている。
《海外にルーツのある子どもへのサポート》
<ul style="list-style-type: none"> ・英語の本は3、40冊ありますが、あまり活用されていない。 ・海外にルーツのある子どもは、ほとんど両親のどちらかが日本人であるため、読み聞かせも日本語で行っている。
<ul style="list-style-type: none"> ・英語の絵本を所蔵している。
<ul style="list-style-type: none"> ・英語の絵本を数冊用意している。
<ul style="list-style-type: none"> ・英語の本は数冊程度所蔵している。読み聞かせを積極的に行っている。
<ul style="list-style-type: none"> ・原書(英語)の絵本を揃えている。
<ul style="list-style-type: none"> ・英語の本もたくさんあり、ネイティブの先生が海外にルーツのある子限定ではなく、そんな機会(読み聞かせ)がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・外国の絵本も数冊所蔵している。

《その他》

- ・(幼稚園の)図書室がいつでも使えるようになっているので、個々に自分にあった、そして好きな本を手にする機会が常にある。
- ・個別対応にえられるようにしている。
- ・保護者が行う読み聞かせ会「ちゅうちゅう会」にて、海外にルーツのある保護者が母語で読み聞かせを行うこと、聴覚障がいの保護者が手話で読み聞かせを行うこと等があった。在籍する子ども、保護者のルーツや背景に応じて、様々な取り組みを行っている。

【施設】読書について(独自に取り組んでいること、困っていること)

《独自の取り組み》

- ・午前と午後の2回、其々の終了時間に使った玩具などを片付けて貰った後、スタッフによる絵本の読み聞かせを行っている。
- ・毎月定期的に図書館員によるお話し会を行っている。
- ・今年度、玉縄図書館と共催で「妊婦さんとよちよち歩きまでの赤ちゃんと楽しむおはなしかい」を子育て支援センターで行う。
- ・保護者による読み聞かせ会「ちゅうちゅう会」を毎月開催している。手遊びや寸劇も含めて雰囲気がよく、子どもに好評である。
- ・絵本について語り合う「絵本の会」を毎月開催している。保護者中心で企画運営している。様々な分野に話が広がり、まじめに楽しい雰囲気である。
- ・子どもの絵本の貸出管理を保護者が担っている。子どもたちがどのような絵本に関心を持っているのか、保護者同士が把握している。
- ・保護者主催のマルシェにて古本屋を出店している。
- ・保護者がレシピ本や手話の本など、独自の本を作成し、マルシェで販売している。
- ・福音館の「こどものとも」を月1冊、幼稚園から子どもたちにプレゼントしている。
- ・クラスにて帰りの時間帯などに読み聞かせを行っている。
- ・園のホームページの園長ブログにて新しい絵本や保護者にお勧めの書籍等、又、感じたことを発信している。
- ・月に2回程度、絵本の貸出を行っている。図書委員の保護者が係となり、子どもの選んだ本を図書カードに記入。週末に自宅に持ち帰り、週明けに返本。絵本の受け取り、整理、補修も委員の仕事である。
- ・夏休み前に「夏休み帳」を配布。その年のテーマに沿った推薦絵本を挙げ、各家庭でテーマについて考え、行動するよう働きかけている。
- ・バザーの時は、絵・紙芝居の読み聞かせを行っている。
- ・保護者を対象にし、月に一度、読書会を開催している。
- ・園内に図書コーナーを設けていて、送迎時に親子で読んでいる姿がみられる。
- ・海外(日本語)の絵本は、色使いや絵が見ているだけでも楽しいので、定期的にレンタルし、子どもたちに提供していた。
- ・絵本コーナーをつくっている。送迎時使用してもらっている。
- ・絵本シネマ。良い本がたくさんあるが、絵本にふれる機会を多くしたいと思い、絵本シネマを導入した。

<p>・絵本の貸出システムを作り、PCを使って、自分が(子ども自身が)操作して貸出、返却を行なえることも楽しみとなっている。ブックリストなどは配布していないが、年間貸出、購読した本のリスト、冊数の記録を個別に知らせている。</p>
<p>・長期休みの際、お昼ごはん時間後に各自で図書室から選んできた本を読むリラックスタイムをつくっている。</p>
<p>・子どもが図書委員会をつくっている。毎月5000円を予算にブックオフ等で購入。児童が買いに行っている。またアンケート(子どもが実施)して、購入すべき本を決めている。</p>
<p>・子どもにリクエストを聞き、流行りの本を購入している。</p>
<p>・図書館が近いので子どもから希望があるときは図書館と一緒に借りに行く。</p>
<p>・静かに過ごす時間に全員で読書をしている。</p>
<p>・長期休みは、朝の学習時間内、お昼ご飯の後に毎日読み聞かせを行っている。 ・学童保育の児童は、おやつ時間に短いお話しを読んでいる。 ・読み聞かせした本の題名は、控えてあるので、今年はリスト化したいと考えている。 ・読み聞かせボランティアの方に来ていただき、プログラムとしての読み聞かせも実施している。 ・去年のクリスマス会には、子ども達が考えたお話で、オリジナル紙芝居を作成し、クリスマス会に披露した。自分たちの施設が舞台のお話で、大変好評だった。</p>
<p>・保護者の参加するイベントで理事会が古本屋を開いている。</p>
<p>《困っていることなど》</p>
<p>・一番の課題は配架スペースが狭いこと。図書室がない為、図書コーナーとしてオープンスペースの場所を使用しているが、書棚が不足していたり、その場で読書をするスペースが設定できていない。</p>
<p>・困っていることは、本が古くなり、修復が必要だったり、買い替えが必要と感じている。</p>
<p>・子どもたちに色々な本を読んであげたいが、園としての専用の予算はなく、ほとんど絵本は寄付や職員持ち寄り(私物)になっているのが現状。もっと本に興味をもってもらえる環境づくりが必要。年長さんが図書館に行ったり、園に貸出をしてもらえたりできるとよいが。おすすめ絵本を教えていただけるのも保護者には良い機会。各年齢ごとのおすすめの本をセットで貸し出してくださると本当に嬉しい。</p>
<p>《その他》</p>
<p>・子どもたちは自由に過ごせる学童において、ゆっくり漫画を楽しんでいる。教育的に良い人気漫画を教えて欲しい。</p>
<p>・注意が散漫になる子が多いので、間延びしないようにテンポやリズムに気を配っている。 ・本の読み聞かせ以外の活動があれば参加したい。又、事業所に来て頂けるかも知りたい。(パネルシアター・人形劇・手品など)</p>
<p>・株式会社でも借りられるようにして欲しい。</p>
<p>・布・点字の本がないに等しいので、布の本の良さ、点字を知るきっかけ等、先生も理解し、子どもたちの触れる機会を作れたらと思う。 園の図書コーナーを少しずつリニューアルしているが、子どもたちがよりわかりやすい、展示の仕方や楽しくなるコーナー作り等、基準であったり、アイデアだったり、知りたい。(絵を描いた人なのか、文を書いた人なのか、どちらで分類するのかなども悩む。図鑑も科学も、幅広く、悩む)</p>
<p>・読み聞かせ(訪問)をコロナで見送っておりましたが、長期休み期間に再開しては・・・と声が出ている。日程を考え、お願いしたい。大型絵本、ペープサート。(じっと座って聞くことは少し難しいので、わいわいして楽しい感じになれば・・・)</p>